

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号：34311

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20730538

研究課題名 (和文) 保守化・個人化する現代日本における子どもたちの社会的紐帯

研究課題名 (英文) Social Bonds among Japanese Students in the conserved and individualized Japan

研究代表者 小針 誠 (KOBARI MAKOTO)

同志社女子大学・現代社会学部・准教授

研究者番号：90388067

研究代表者の専門分野：教育社会学

科研費の分科・細目：教育学・教育社会学

キーワード：保守化、愛国心、個人化、社会的紐帯、教育改革、後期近代

1. 研究計画の概要

本課題研究の目的は、保守化・個人化する現代日本において、学校成員（教師や生徒・児童）の自己意識、国家意識（排他的ナショナリズムも含む）、その中間集団としての「社会」（家族・友人・学校・地域社会・教会など）に対する意識に関して理論的・実証的に明らかにし、子どもたちにおける社会的紐帯の復権を目指す臨床的なアプローチを試みることにある。

2. 研究の進捗状況

本研究課題の進捗状況を、先の (1) 理論研究、(2) 実証研究、(3) 臨床的実践にわけて論じる。

(1) 理論研究・・・1980 年代以降の日本社会の個人化と保守化の進行に関して、日の丸・君が代問題や教育基本法改正問題をもとに、グローバル化と革新勢力の衰退に伴う保守化の問題として捉えなおす。新自由主義—個人化、あるいは新保守主義—保守化という対関係から、相互の関係を捉え、以下の実証研究に向けた理論枠組みを構築した。

(2) 実証研究・・・今回の調査対象者となる児童・生徒は 90 年代の保守化と個人化の狭間で社会化されてきた。しかし、すべての対象者が「愛国者」であり、個人化するわけではないだろう。分析結果、学校・家庭・地域社会などとの社会的紐帯が強いものほど、愛国心の度合いが高まることが明らかになった。

(3) 臨床的実践・・・本研究の特色は分析結果を学校現場や市民社会に還元し、現場の教師や児童・生徒と共有し、臨床の知の方法・理論を発展させることにある。それは市民講座や高校生対象の講座・講演におけるワークショップ等を通じて実践した。

3. 現在までの達成度

全体的に見れば、当初の計画通りに進捗してはいない。

(理由)

当初の研究計画では、初年度（2008 年度）の理論的検討を踏まえて、次年度（2009 年度）にはインタビュー調査と質問紙調査を実施する予定であった。ところが、新型インフルエンザの影響で調査の継続が困難になっ

てしまった。また、調査予定の学校側の諸事情により、質問紙調査の実施が困難になるなどの問題に直面した。インタビュー調査は2010年度に別の学校で教師や子どもたちを対象に実施できた。

4. 今後の研究の推進方策

(1) これまでの研究を総括する作業に入ることが肝要だと考えている。

(2) 本研究課題のすべての研究成果をまとめて、2011～2012年度中に単著として『保守化する現代日本と教育・子ども・青年』（仮題）を刊行する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

①小針 誠、現代の高校生における「ぶちなショナリズム」意識——国際試合の応援等にみられる高校生の「日本」をめぐる態度や意識に関する研究——、同志社女子大学 総合文化研究所紀要、第28巻、2011年、査読有

②小針 誠、中学生は「日本を愛している」のか?——保守化する現代日本における中学生と愛国心——、同志社女子大学総合文化研究所紀要、第26巻、43～54頁、2009年、査読有

③小針 誠、学校式典(入学式・卒業式)における日の丸・君が代実施の規定要因——実施率の上昇(80年代)から完全実施(90年代)に向けて——、同志社女子大学学術研究年報、第60巻、31～41頁、2009年、査読有

[学会発表] (計3件)

①小針 誠、近代学校と教育の公共世界、第101回京都フォーラム「公共世界としての学校」、2011年3月26日、於：神戸ポートピアホテル

②小針 誠、学校裏サイトの問題整理、日本子ども社会学会、2008年6月29日、於：松山大学

③小針 誠、学校裏サイト等からみる子どもたちの友人関係～いわゆる「ネットいじめ」問題を中心に～、日本子ども社会学会、2009年7月4日、於：中国学園大学

[図書] (計3件)

①小針 誠、子どもと家庭教育、武内清・岩田弘三編、子ども・若者の文化と教育、放送大学教育振興会、2011年、35～47頁

②小針 誠、ハーベスト社、学校裏サイトにおける「ネットいじめ」の構造と対策、深谷昌志・深谷和子・高旗正人編、ユビキタス社会の中の子どもの成長、ハーベスト社、2010年、67～74頁

③小針 誠、世織書房、〈お受験〉の社会史 都市新中間層と私立小学校、2009年、1～340頁 + i～vii